

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大成小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

① 目標・策		
	目標	策
知識・技能	令和5年度さいたま市学習状況調査(国語)で、令和4年度の自校結果より3pt向上させる。	⇒ 「学び方」についての指導を具体的にすることで、児童が自分の学習内容の理解度を把握し、つまづきのある領域や内容に応じたプリントでの学習や「ドリルパーク」等を積極的に活用できるように支援する。
思考・判断・表現	令和5年度さいたま市学習状況調査(国語)で、令和4年度の自校より3pt向上させる。	⇒ 国語の学習において、学習した内容を生かして課題に取り組むことができるように、言語活動を設定する。学習した内容をもとに自分の考えを表現する機会を意図的に設定し、資料の示し方、声の抑揚や話すスピードなど基本的なスキルについて、発達段階に合わせて指導する。
主体的に学習に取り組む態度	令和5年度さいたま市学習状況調査において、「国語の勉強は好きですか」と「家で自分で計画を立てて勉強していますか」の質問項目において、令和4年度の回答より5%向上させる。	⇒ 4年生以上において、自分の課題に応じた学習計画を立てる時間を月に1回以上設定する。ICT機器を活用して、学習の成果について、児童同士や保護者からのフィードバックの機会を積極的に設ける。

<小6・中3>(4月~5月)

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	R5年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、R4年度の自校の結果と比較し、国語-3.8ptであった。日常よく使われる敬語を理解しているか選択する問題で、解答類型を見ると、「話す」の敬語は理解しているが、「聞く」の敬語を理解していない児童が見られた。
思考・判断・表現	R5年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、R4年度の自校の結果と比較し、国語-1.8ptであった。資料からわかることをもとに、自分の考えをまとめる問題で、解答類型を見てみると、複数の条件がある中で、一部の条件を満たしていない児童が見られた。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度全国学力・学習状況調査の質問項目をR4年度の自校の結果と比較し、肯定的な回答の割合は「国語の勉強は好きですか」において+9pt、「家で自分で計画を立てて勉強していますか」において+10.1であった。これまでの取組を継続し、より一層、子ども主体の学びとなるよう授業改善に努める。

①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3		小4	
小5		小6	

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
	目標	策
知識・技能	変更なし	⇒ 変更なし
思考・判断・表現	変更なし	⇒ 変更なし
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒ 変更なし